



2022年の統一地方選は24市町村で行われ、過去最多の54人の女性が立候補し49人が当選。全市町村の女性議員の割合は過去最多の13.2%となった。北谷町では7人が当選し県内最多の36.8%となった=2022年9月14日



那覇市の女性議員でつくる超党派の「ブルーゲンピリアの会」は、2025年7月に女性16人が当選し全議員の4割となったが「5割になるまではまとまって声を上げる必要がある」と活動継続を市長に伝えた。活動を始めた2013年の女性市議は5人だった=2025年9月4日、那覇市役所

戦後80年を迎えた慰霊の日、母ときょうだいの氏名が刻まれた平和の礎の前で「何十年たっても悲しい」と涙を流す女性=2025年6月23日、糸満市の平和祈念公園



28年にわたり性暴力被害者を支援してきた強姦支援センター・沖縄「REICO(レイコ)」が、民間ボランティア組織としての役割を終えたとして活動に幕を下ろした。関係者がシンポジウムを開き、性暴力に苦しむ女性たちに寄り添い、性暴力への社会の意識を変え、支援体制を整える運動の歩みを振り返った=2023年9月24日、那覇市の県立博物館・美術館



米軍基地周辺の有機フッ素化合物(PFAS)による水質汚染問題では母親など地域住民が汚染源の特定や住民の血液検査、医療支援などを求めて運動した。県公害審査会への公害調停申請を報告する「宜野湾ちゅら水会」など市民団体のメンバーら=2025年10月27日、那覇市の県庁記者クラブ



南城市長による市職員へのセクハラに抗議のスタンディングをする「ハートのまち南城人権ファーストの会」=2025年3月17日、南城市庁舎前



ジェンダーレスで生理について考える出前講座や「生理の貧困」解消へ生理用品の配布などに取り組む沖縄キリスト教学院大の学生でつくるチーム「Ladybird(レディバード)」が、5月28日を「生理をジェンダーレスで考える日」に制定したと発表した=2021年12月23日、西原町の同大



1999年、読谷山花織で県内4人目の人間国宝に指定された与那嶺貞さん。90歳の当時から毎日のように機の前に座っていた= 1999年5月21日、読谷村



首里の織物で1998年に県内3人目、女性初の人間国宝となった宮平初子さん。国内外の工芸系の賞も多数受賞し、工芸的な織物を美術工芸的な織物に深化させたと言われる=撮影年不明



機の子守歌に育ち、戦後の荒廃した沖縄で芭蕉布の復興に没頭。2000年に芭蕉布作りで人間国宝に認定された平良敏子さん= 2018年2月14日、大宜味村



沖縄戦で多くが失われた琉球の染織を研究して再現し、染織家、指導者として活躍。首里の織物で2023年に人間国宝となった祝嶺恭子さん= 2023年7月20日、那覇市



人間国宝となった、八重山上布保存会代表で染織家の新垣幸子さん。染織作家として活躍しながら、伝統技法の復活や後進育成にも尽力= 2024年7月18日、石垣市



2005年、ゴルフの第38回日本女子オープン選手権で初優勝した宮里藍さん。20歳3カ月で、当時の最年少記録を樹立した= 2005年10月2日、横浜市戸塚CC

日本代表として県内空手界をけん引した豊見城あずささん。嘉手納由絵さん、清水由佳さんと2004年の世界選手権・団体形を優勝するなど世界で頂点に立った= 2003年



1997年に囲碁の新女流本因坊となった知念かおりさん。女流本因坊戦は通算4期獲得、女流棋聖戦は通算5期獲得した= 2004年10月27日、岩手県

2024年のパリ・パラリンピックの陸上マラソンの女子（車いすT54）で12位に入ったうるま市出身の喜納翼さん= 2023年12月、沖縄市陸上競技場





女性だけで作品を上演し、沖縄芝居界に一時代を築いた「乙姫劇団」。間好子さん、上間初枝さん、兼城道子さん、大城光子さんが「四大スター」と呼ばれた。1949年に結成し、2002年に53年の活動を閉じた＝1964年11月27日

全国で「アムラー」現象を起こすなど人気を博し、前年に引退を表明した県出身の歌手・安室奈美恵さんに県民栄誉賞が贈られた。表彰式はファンの殺到を警戒して異例の厳戒態勢で行われた＝2018年5月23日、県庁知事応接室



2021年10月に人間国宝「重要無形文化財『琉球舞踊立ち方』保持者」の認定を受け、復帰50周年記念式典レセプションで「かじゃでい風」などを披露する宮城幸子さん（右）と志田房子さん＝2022年5月15日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター



「女性に対する暴力をなくす運動」の一環で、DVの防止や被害者保護について理解を深めようと西原町が開いたパネル展＝2004年11月18日、西原町中央公民館



浦添市の男女共同参画週間開幕セレモニーであいさつする市女団協の棚原利栄子副会長＝2004年6月24日、浦添市役所



南風原町は男女共同参画推進懇話会を開き、2002年に策定した町の男女共同参画計画「まじゅんプラン」の検証を開始した＝2006年2月23日、南風原町役場



北谷町の男女共同参画講座「知ってる！ 今時の恋愛事情」でデートDVについてロールプレイで学ぶ受講生＝2009年2月24日、北谷町役場



石垣市の男女共同参画講座は「介護は誰の問題？」と題して、依然として女性の負担が大きい介護の現状を学んだ＝2004年10月13日、石垣市の健康福祉センター



男女共同参画週間に、沖縄市は市女性団体連絡協議会に所属する団体の活動などを伝えるパネル展を開いた＝2006年6月26日、沖縄市役所



具志川市の男女共同参画懇話会は教育現場への男女混合名簿の導入、ミスコンの見直し、女性登用などを盛り込んだ提言書を市長に提出。「新市（うるま市）の行政施策に生かしてほしい」とした＝2004年12月24日、具志川市役所

●写真出典／提供・所蔵の記載がないものはすべて琉球新報社より